

# とちぎ夢大地応援団活動報告（10月21日実施）

## 那須烏山市 大木須地区「耕作放棄地の草刈り」

大木須地区の活動は4年目を迎えますが、今年は「里山大木須を愛する会」が実施主体となりました。

「暮らしやすさ」「里山環境の維持」「1集落1農場を目指す地域営農づくり」等の課題に対応できる組織体制として、今まで活動の中心主体であった「大木須むらづくり推進委員会」「木須川を愛する会」を発展的に解散し、全戸参加の新たな組織として「里山大木須を愛する会」が6月に設立されたことによります。

雲一つない快晴の中、地元の愛する会21名が、毎年参加しているナルク栃木をはじめ夢大地応援団員、宇都宮大学教官・学生サークル「さとびと」の部員20名を迎え、他に友情参加の国見自治会員、大谷市長等関係者6名を加えると総勢47名が今回の活動に参加しました。

### ○ 開会式

午前9時からオオムラサキ公園で、堀江会長から歓迎のあいさつ、つづいて日程・作業に当たっての注意事項の指示を頂いた後、作業場所に移動しました。



堀江会長の歓迎あいさつ



### ○ 草刈り作業

参加者全員でセイタカアワダチソウ・ススキが繁茂する耕作放棄地の草刈りを開始、約2時30分の作業で全ての刈り払いを終了しました。



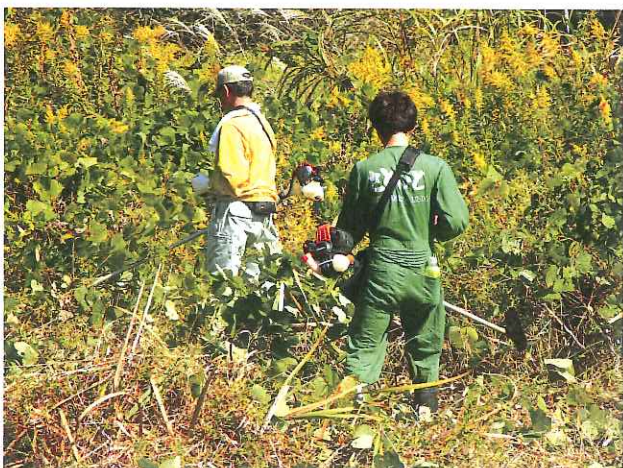
作業前の耕作放棄地



鎌でも奮闘



休憩



サウスボーで



一面に咲くセイタカアワダチソウ



ススキも 背丈の倍



草刈り後 きれいになりました。数の力



(初めての草刈機)



懇切丁寧に指導を受け、草刈機を使えるようになりました。

### ○ 昼食・交流会

多忙中にも係わらず駆けつけていただいた大谷那須烏山市長に歓迎のあいさつを頂き、全員で記念写真を撮りました。

昼食をご馳走になり、その後の交流会では参加者から感想・意見発表、そして地元の方は大木須現状・課題と今後の取り組み・抱負等について紹介していただき、交流を深めました。

参加者全員、11月に開催するそば祭りと来年の活動での再会を楽しみにしていました。



大谷那須烏山市長あいさつ



おいしい昼食を頂きました。

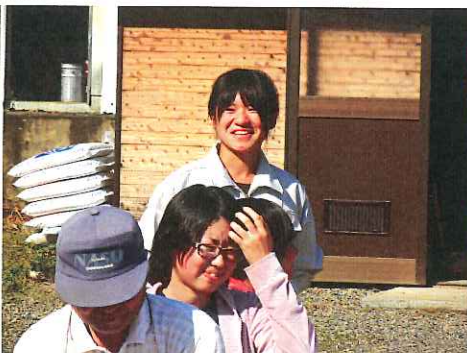
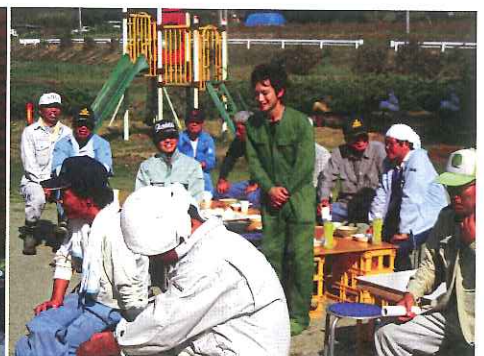
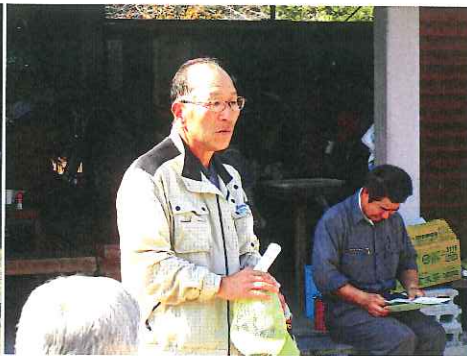


真心を込めてつくりました。

(交流会)



毎回参加 とちぎナルクの代表



宇都宮大学サークル「さとびと」



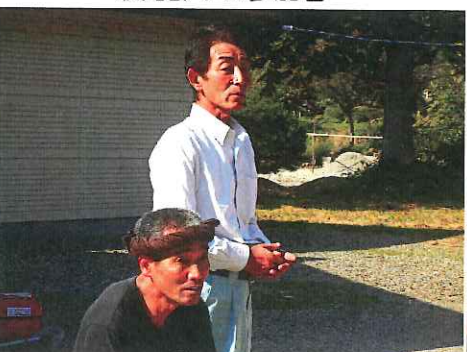
夫婦で参加



最高齢?の参加者



隣の集落 国見から参加



地元 大木須の取り組みについて説明 (そば生産組織代表 営農部長 くらし部長 環境部長の各氏)





参加者